

# 森づくり通信 No.70

2023年(令和5年) 12月 15日(金)発行

発行/金沢森づくりサポートバンク事務局

920-1301 金沢市永安町77番地(金沢市林業振興協議会内)

TEL:076-229-1699 FAX:076-229-1172



今年の秋は短かったと感じています。11月前半には25度の夏日を記録し、その後山間部は雪が降り白峰では除雪車が出動したとの報道もありました。

極端な天候に左右され農産物や水産物などに影響が出ており、カキやサケも不漁、ネギやトマトも高値が続いている現状です。

今年にはコロナ禍も収まり森の出前講座や森作り活動も通常に戻り、数多くの関係者の皆様にお世話になり、ありがとうございました。

皆様も良い年をお迎え下さい。来年もよろしくお願い致します。



## ●年末年始のお知らせ●

金沢森づくりサポートバンク事務局の業務は、年末は12月28日(火)まで、年始は1月4日(木)からとなります。

お問い合わせやご連絡の際は、よろしくお願い致します。

## 10/20(金) 四十万小学校出前講座



3年生3クラス88名を対象に森の出前講座を行いました。パワーポイントでの座学と地元で整備した竹林の竹を使っての竹細工を行いました。

人数が多く竹細工は全員が一度にできないので、午前中の1時限はマルチルームで森の話全員に行い、その後午前班と午後班に分けて行いました。

のこぎりの使い方の説明後、5つに分けた班に指導者2名を配置し、竹を切り食器やコップを作りシールやサインペンで飾り付けをしてもらいました。



## 11/13(月) 医王山小学校出前講座



図書館の内装を金沢産のスギ材で改装するにあたり、5年生児童5名を対象に「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環を学んでもらうための森づくり出前講座を行いました。

まず、森林についての座学を行い、その後竹を切って竹ポットを作ってもらいました。

校舎玄関先に移動し、どんぐりの話と蒔き方の説明を行い、作った竹ポットにどんぐりの種を蒔いて、家で育ててもらう分と学校で育てる分としてプランターに蒔きました。





# 森づくり出前講座 実施報告



森づくり活動や森林の講座などに「森づくり専門員」を派遣しています。

森林の役割や森づくりの進め方などについて、森づくり専門員が説明するとともに、森の中での体験学習などを行っています。例えば小学校の総合学習の時間に森林環境教育や森林の公益的機能についての説明を行う、または森づくり活動の際に現地に出向いて技術指導をするなど、様々なテーマでの出前講座を実施しています。

森づくり出前講座の問合せ・申込みは 金沢市 森林再生課 TEL:076-220-2217 までお願いします

## 11/1(水) 中央小芳斉分校出前講座



中央小学校芳斉分校より森の出前講座を行ってほしいとの依頼があり、1日は高学年34名を対象に森の話とミニプランター作りに挑戦しました。事前にクギ穴を開けたキットを用意し、金づちでクギを打ち組み立てる方法で行いました。

## 11/2(木) 中央小芳斉分校出前講座



2日目の出前講座の対象は低学年15名で、のこぎりでスギの円柱材を切つてのネームプレートを作る活動にしました。最初に森の紹介を行い、のこぎりの使い方を説明、それぞれ指導者が付き円柱材を切つて作品を作りました。

## 11/2(木) 朝霧台小学校出前講座



新設の朝霧台小学校では、地元の森に木を植える植林体験活動を予定しており、その前段として5年生102名を対象に、森が果たしている恩恵についての話を行いました。校舎も金沢の木をふんだんに使い、木の香りが漂っていました。

## 11/24(金)内川緑の少年団出前講座



内川小学校の児童22名が団員で3、4年生と5、6年生の2グループに別れて木工を行いました。木を使う事の意義を話し、自然木を切つてカスタネットやネームプレート作り、黒板を拭く際の踏み台を2台作りました。

## 12/2(土) わくなみこども園出前講座



こども園の保護者会からの要望で親子49名を対象に森の出前講座を行いました。スギのコースターを使ってクリスマスの飾り付けを作りたいとの事で、最初に「もくざいのヒミツ」の紙芝居を見てもらい親子でシールやお絵描きで仕上げて行きました。

## 12/7(木) 長田町小学校出前講座



長田町小学校の図書室を金沢の木で改装したことで、5年生52名を対象に森と人の関わりについて学んでもらいました。森が美味しい水を作ってくれる事を知ってもらうために、森の土を使った水質浄化の実験も行い、確かめてもらいました。



# 森づくり活動 実施報告



## 元気な森林を守り育てるため、森づくり活動を行っています。

森林は、私たちの暮らしを守り、様々な恵みを与えてくれます。しかし、手入れ不足や放置されることで森林は荒廃が進み、その働きが充分発揮できず森の恵みや生物の多様性も損なわれます。

大切な森林を守り育てるため、一般市民、企業、地元、NPO法人等の協力を得て森づくり活動を行っています。

<問い合わせ先>金沢森づくりサポートバンク事務局 または 金沢市森林再生課 TEL:076-220-2217

### 9/9 (土) テクノの森づくり



テクノパークの企業の従業員、家族32名が参加し、散策路の草刈り、森への侵入竹の伐採・集積や各フィールドの標柱建てなどの活動を行いました。その後伐った竹を利用し食器などを作り、広葉樹の枝を輪切りにしてネームプレート等も作りました。

### 10/7 (土) ダンロップの森づくり



ダンロップタイヤ社員・家族20名がキゴ山ダンロップの森で森づくり活動を行いました。以前に植えたカラマツ植栽地と全体の草刈りを刈払機も使い行いました。見晴台には10本のカラマツを新たに植えました。

### 10/14 (土) きんしんの森づくり



東原町のきんしんの森に63名が参加し森づくり活動を行いました。炭小屋の横から開会式を行う「ふれあい広場」まで、階段をつけ道を新設しました。親子チームは火を起こし、地元の炭でクリやサツマイモ、しいたけを焼いておいしく頂きました。

### 10/22 (日) 特用林産物 PR 活動



しいたけ、ギンナン、クロモジの加工品など、森林で産出される特用林産物のPRのため、金沢農業まつりに出展しました。東原で焼いた炭で炭火焼きにしたしいたけやギンナンを無料で試食してもらい、約700名がブースに来場して頂きました。

### 11/3 (金) 市民美術の日 オープンまるびい



11月3日は金沢市民のみなさんが、美術館を楽しみ様々な人と交流する市民美術の日として、21世紀美術館の展示会が無料になり、様々な催しが開催されました。

その中で金沢の木で「メモリアルプレート」をつくらう!の催しを行い、美術館を訪れた観光客



を含め、金沢の木に親しんで木を加工する過程を体験してもらいました。参加者も200名を超え大盛況でした。

同ブースでは椅子づくりのワークショップも行われ、参加者が座面をパソコンで設計し、機械を動かすことでオリジナルの椅子が出来上がっていききました。



## 金沢森づくりサポートバンクのホームページをご覧ください！

会員、団体様の森づくり活動の様子や当協会が運営する森づくりイベントの募集などを掲載し、道具の貸し出し申請書や会員登録用紙のダウンロードなどでもできるサイトとなっています。

サイト内には年4回発行の森づくり通信の創刊号から最新号まで閲覧できるようになっており、皆さんの懐かしい写真や直近の活動の写真もありますので、ぜひご覧になってください。



## 刈払機・チェーンソー 講習会のお知らせ

講習の種類	開催日	開催場所	締切日
伐木等業務(チェーンソー) 特別教育	令和6年 1/17(水)～19日(金)	石川森林文化 ホール	令和5年 12/25日(月)

刈払機やチェーンソーを安全に正しく使うための講習会が実施されています。

登録会員の方には受講に対しての支援を行っています。希望される方はこの機会に是非受講下さい。

会場は石川森林文化ホール(金沢市東蚊爪1-23-1)で行います。

※お問い合わせ・お申し込みは、期日まで金沢森づくりサポートバンク事務局までお願いします。

※必ず金沢森づくりサポートバンクにお申し込み下さい。(直接申し込みは補助対象になりません)

## 編集雑記

### 「栃もち」

山で栃の実が落ちているのを見かけても子供の頃、とち餅をついて食べていたなぐらいの思いしかなく、白峰に行ったついでにとち餅を買って食べるこの頃でした。

そんな中でも山菜など様々な山の恵みを収穫し食べる事が多くなると、旬のものだったり昔から食べられていた物の懐かしさとか美味しさなどが感じられるようになり、突然、とち餅をつくってみようと思いいろいろ調べました。栃をあわせる(食べられるようにする)には手数と労力と根気が必要な事がわかり、誰もあまり手を出さないのも納得できました。

それでもやってみようと思ひ、白峰の八十四歳で昔の知人に連絡を取りやり方を教えてもらいました。コツは手を抜かない事。

簡単に説明すると、栃の実を拾って天日でカラカラになるまで十分干し、水に10日ぐらさらす。その後ぬるま湯で温めながら外皮を剥き、水を毎日10日間ほど換えながらアクを抜く。3時間ほどお湯を足しながら茹で、準備してあった広葉樹の灰と混ぜて一週間以上保温する。次に灰を水で洗い流しうま味があるかどうかがこの時点で判明する。ここでダメなら全ての工程が無駄になる。(挽回の方法もある様だがあまりおすすめしないとの事)成功なら餅をつけるが、今回は成功で市販のものより昔に近づけて多めの栃を入れたら苦めで大人のとち餅になりました。

金沢市森づくり専門員 加藤 八郎

